

# 地 域 再 生 計 画 事 後 評 価

次世代の「高度ものづくり開発技術者」養成による地域製造業再生計画

平成27年3月

長野県岡谷市

評価結果のまとめ

都道府県名	長野県	市町村名	岡谷市	地域再生計画名	次世代の「高度ものづくり開発技術者」養成による地域製造業再生計画
計画期間	平成21年度～平成25年度	交付金交付期間			

1. 事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業							「岡谷市工業活性化計画」に基づく、岡谷市工業の活性化を図る事業 「諏訪圏精密工業の活性化人材の養成計画」に基づく、信州大学における「博士課程専門職コース」の整備・開講			
2. 地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	指標		従前値		現在値			効果発現要因			
			基準年度		基準年度		事後評価	総合所見			
	指標 1	粗付加価値額	991億円	平成19年度	1314億円	平成25年度	○	産学官の連携による経済界の活性化が図られており、企業の課題を研究する高度ものづくり開発技術者の養成も効果をあげていると思われる。			
指標 2	博士課程専門職コースから6名の地域産業界への輩出	0人	平成21年度	5人	平成25年度	△	プロジェクト終了時点での養成人員は目標より1名少ない5名ではあるが、特許出願や技術相談、さらに平成25年に一般社会人を対象とした1年コースを開始した点などが評価されている。				
3. その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指標		計画値		実績値		効果発現要因				
							事後評価	総合所見			
	その他の数値指標1	修士課程準備コース	5人		12人		○	地域企業からのニーズがあつてのコース開設であり、カリキュラムも充実している。			
その他の数値指標2	修士課程社会人コース	4人		3人		○	平成18年からの取り組みで、地域に根付き始めたコースとなっている。				
4. 実施過程の評価	指標	粗付加価値額	修士課程準備コース	修士課程社会人コース		博士課程専門職コース		実施状況の検証			
			受講生数	入学学生数	養成終了学生数	入学学生数	養成終了学生数				
	平成21年度	687億円	5名	4名	9名	—	—	学生にとって、修士課程は、仕事を行いながらの受講することが苦勞する点として、博士課程は、仕事少し離れなければならないことが苦勞する点となっているが、企業の研究課題を持ち込んで直接研究できるテーマ設定方法は大きな魅力の一つとなっている。			
	平成22年度	749億円	9名	3名	5名	4名	—				
	平成23年度	946億円	18名	4名	1名	4名	—	また、博士課程においては、通常10単位で卒業できるところを、20単位必要とし、技術だけでなく、経営面の人材養成が強化されていることも他と差別化できている要因と思われる。			
	平成24年度	1,353億円	7名	3名	3名	4名	2名				
	平成25年度	1,314億円	12名	3名	4名	3名	3名	粗付加価値額は、リーマンショックの影響で、平成19年度の991億円から大きく落ち込むものの、地域再生計画の成果もあり、V字回復となった。			
合計	—	51名	17名	22名	15名	5名					
5. 総合評価と今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標数値とした「粗付加価値額」は目標を大きく上回る結果となった。</li> <li>・ 目標数値とした「博士課程輩出人数」は、目標を1名下回ったものの、地域企業とのつながりを強化するなどし、(独)科学技術振興機構からも高い評価を受けた。</li> <li>・ 今後については、平成26年度～平成30年度の5カ年を計画年度とする「岡谷市工業活性化計画」に基づき、地域再生計画及び旧岡谷市工業活性化計画により確立された地域再生及び活性化の成果を引き継ぎ、引き続き地域活性化に全力で取り組みます。</li> </ul>										